

島根県公共事業再評価 評価結果 (案)

作成日 平成25年5月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
2	<p>(事業概要) (事業主体の根拠)</p> <p>(事業名・地区) 国道432号 東岩坂バイパス 道路改築事業</p> <p>(事業位置) 松江市八雲町 東岩坂～日吉</p> <p>(事業費) 16,190,000千円</p> <p>(事業概要) 本事業は松江市八雲町東岩坂から日吉に至る8.6km区間を2車線道路で整備するものである。</p> <p>(事業主体の根拠) 道管2条</p> <p>(再評価区分) 再評価実施後5年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 土木部道路建設課</p>	<p>事業採択・着手・完了予定年度、経過年数 (進捗状況と今後の見込み)</p> <p>事業採択・着手・完了予定年度、経過年数</p> <p>事業採択年度：S54年度 用地着手年度：S54年度 工事着手年度：S55年度 再評価(暫)年度：H20年度 完了予定年度：H34年度 経過年数：34年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 全体で78%の進捗。</p> <p>用地補償は全体の90%が買収済。 工事の進捗状況は、全体延長8.6kmのうち6.7kmを供用済み。(供用率78%)</p> <p>藤原地区(L=1.6km)はH6年度に、日吉～富谷地区(L=3.6km)は、H18年度までに供用済み。 別所地区(L=3.4km)は、終点側(L=1.5km)がH22年度までに供用済みである。 現在、別所地区(L=0.7km)を工事中であり、H27年度供用に向け、整備を進めている。</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)</p> <p>(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)</p> <p>(事業導入の経緯・目的) 松江市と安来市広瀬間(合併前：松江市～松江市八雲町～安来市広瀬町)の連携、生活圏の中心である松江街地への連絡道路である。特に、松江市八雲町東岩坂から安来市広瀬町境に至る区間は、道路の幅員が狭く、線形も屈曲している。 本事業により、安全な通行の確保をするとともに、広域的な連携、都市圏の形成を図る。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 計画道路沿線の松江市八雲町地区は、松江市街地周辺のベタタウンとして住宅開発が進む。 H17年3月の合併により新松江市(1市7町村)が誕生。 松江市八雲町から中心市街地へのアクセス向上、また、安来市広瀬町と松江市間の広範囲の利便性向上に資するものとして期待されている。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 地元の支援の元に事業進捗している。今後の施工箇所も地元協議を踏まえて進める。</p>	<p>(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)</p> <p>(費用対効果) B/C=1.39 (aaaa) 社会的効果 (bbbb) 総合評価 (aabbbbb) 「事業を行う価値がある」 (コスト削減・代替案等) ①事業規模の妥当性 道路構造令に基づき決定している。 道路全幅員7.5m(一部9.75m) 車道幅員 6.0m 3車線2車線道路 ※山地郊規格 ※設計速度50km/h ②事業方法の妥当性 経済的なルートである、現道拡幅併用バイパス案を採用している。 (全体(区間) > バイパス新設 8.2 (1.9) km 現道拡幅 0.4 (0.0) km (現道幅員3.0m) ③コスト削減への取組 地すべり区域への影響を避ける計画により、対策等工費を軽減。 (その他の効果) 沿道施設…星上山カバーク(アウトレット)と熊野大社、安部榮史郎記念館(紙すき)の観光ルートの形成</p>	<p>環境への配慮 事業を中止した場合の影響</p> <p>(自然環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の取組)</p> <p>(生活環境・自然環境への影響) 河川付け替えなどによる水質や生態系への影響について環境調査を実施。 [結果] ・水質等、環境には影響なし。 ・生態系に配慮した多自然型護岸を使用。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 普通車もすれ違えない隘路区間が残れば、広域的な幹線道路、また、沿道集落の生活道路としても安全で安心した通行が確保できず、事業効果が大幅に減少する。 第2次緊急輸送道路に指定されているが、車両の離合ができない狭隘区間が残る災害時の緊急輸送道路として機能が発揮できない。</p>	<p>今後の県の方針案</p> <p>(継続・中止)</p> <p>(方針案) 継続 (継続の理由) これまで、約8割の区間を供用済みで、引き続き整備を進めている。現在も事業の必要性は変わっておらず、これまで改良した区間の効果発現のためにも、早期の全線改良を図る必要がある。</p>

幹線道路ネットワークの整備

一般国道432号 東岩坂バイパス

路線の概要

松江市と安来市（広瀬町）を連結し、県内の道路網の骨格となる一般国道432号です。本事業箇所は、医療機関や通勤先・商業施設が集中する生活圏中心都市、松江市へのアクセス道路です。
事業区間である、松江市八雲町東岩坂別所～藤原間は、道路の幅員が狭く線形も曲んでいます。
幹線道路ネットワークの早期完成のため、広域幹線として本区間の整備を進めています。
※（広域幹線とは、高速幹線道路を補完し、県内外の都市間を連結し、県内の道路網の骨格となる国道）

事業の目的

1. 広域観光ルートの形成 ～ 八雲町の里の交流を広げよう！
 ①八雲国際演劇祭の開催（しほの聖シアターで開催）
 ※外国からの参加者は八雲町でホースタテイ
 ②安部栄史国際芸術祭の開催（さくら文化）・アグリパーク（滞在型農業公園）・星上山（アウトドア）など
 ③飛野大社（歴史文化）
 ④災害への対応強化
 ⑤緊急輸送道路の確保（県合同庁舎、市八雲支所、警察、消防、災害拠点病院、広域避難場所などの防災拠点を接続する道路）
2. 国道9号の代替路線の確保
 医療・福祉活動の支援
3. ①松江市内にある医療機関等への30分圏の拡大
 維持管理の充実
4. ①防災拠点を防災対策箇所回避（異常気象時に啓石・樹原のおそれあり、防災対策工事が必要な箇所が国道に10箇所、旧道に1箇所ある）

